

決算説明

2026年 7 月期 通期決算

2026年 9 月11日



株式会社ウエスコホールディングス

【東証スタンダード 証券コード 6091】

- 1 サマリー
- 2 2026年7月期 連結決算ハイライト
- 3 セグメント情報
- 4 コーポレートアクション・トピックス
- 5 2027年7月期 連結決算計画

FY2026 実績

- 建設コンサル、スポーツ、水族館の各セグメントで「増収・増益」を達成
- 売上高、各段階利益の全てで過去最高を更新も、第三者割当や外注費の経費増加
- 老朽化不動産の売却に伴う特別利益計上

FY2027 計画

- 次期の連結業績は、「増収・増益」を計画
- 配当方針の変更により、大幅な増配を予定
- 第2次中期経営計画スタート

中計進捗
(FY2024 – FY2026)

- 売上高、ROE、フリーキャッシュフローは中計目標を達成
- 営業利益、営業利益率は未達となったことに加え、非財務KPIは多くの項目で目標乖離
- 成果と反省を踏まえて、次期中計を更新

(単位：百万円)	FY2025	FY2026	前期比	主要因
売上高	16,114	17,001	5.5%	・ 建設コンサル事業 + 371M ・ 水族館事業 + 509M（期初想定超）
営業利益	987	1,029	4.2%	・ 持株会の第三者割当費用 + 81M で人件費増加
営業利益率(%)	6.1	6.1	± 0.0%	・ 低収益のノンコア事業のトップライン増収が押し下げ
経常利益	1,215	1,272	4.7%	・ 純投資損益 124M ・ 水族館(四国・アトア)に係る匿名組合投資利益 99M ・ スマートアクアリウム静岡撤退に係る減損損失等 ▲40M
親会社株主に帰属する 当期純利益	774	945	22.1%	・ 不動産売却等による特別利益 158M

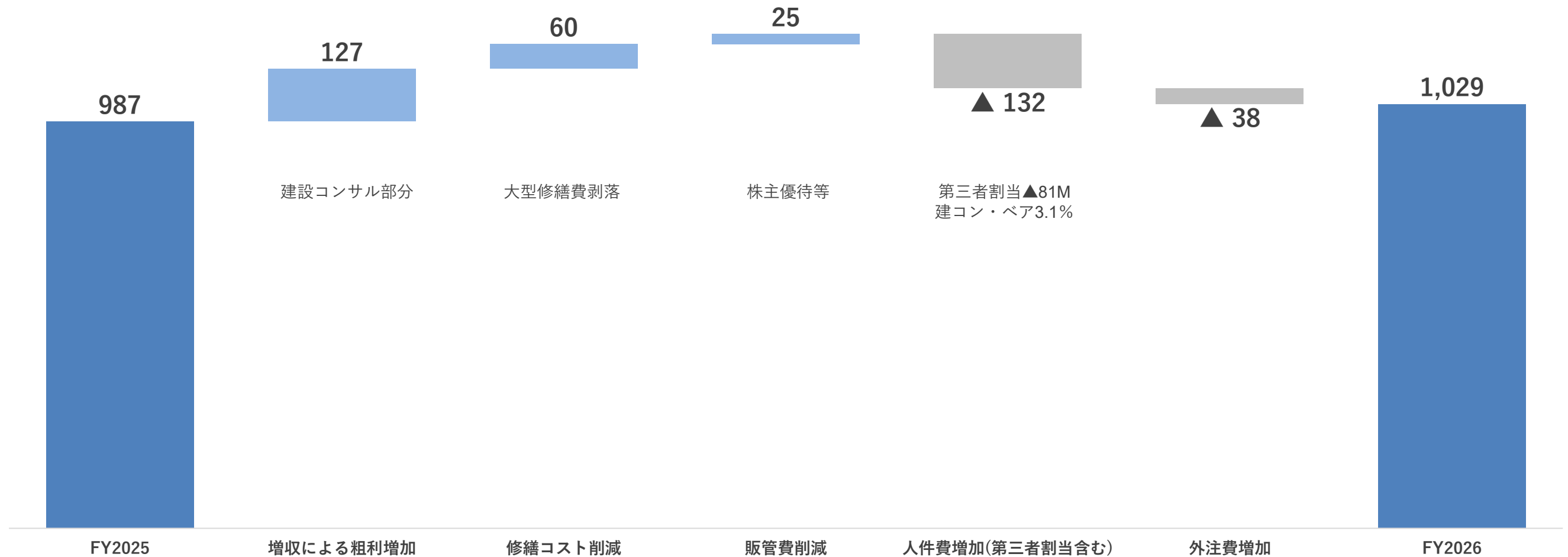
*文中の単位「M」＝百万円。掲載数値は、表示桁未満の端数調整あり（以降、各頁同様）

2. 2026年7月期 決算ハイライト

連結P L 営業利益の増減要因

■営業利益は1,029M（前期比+4.2%）で増益も、期初予想からは下振れ。持株会に対する第三者割当等の人件費の増加や外注費のコスト増加が要因

（単位：百万円）



連結 B S

■ バランスシート構造に大きな変化はなく、健全な財務基盤を維持

(単位：百万円)	FY2025	FY2026	増減
流動資産	14,047	13,766	▲280
(現預金)	(9,568)	(8,416)	(▲1,152)
固定資産	7,194	8,182	988
(投資その他資産)	(4,086)	(5,234)	(1,147)
資産合計	21,242	21,949	707
流動負債	4,542	4,596	54
固定負債	444	647	203
負債合計	4,986	5,244	257
株主資本	15,724	15,778	53
その他純資産	530	927	396
純資産合計	16,255	16,705	449
負債純資産合計	21,242	21,949	707

補足

流動比率299%

月次平残約6,000M（期末と月次平残には大幅な乖離）

固定比率49%

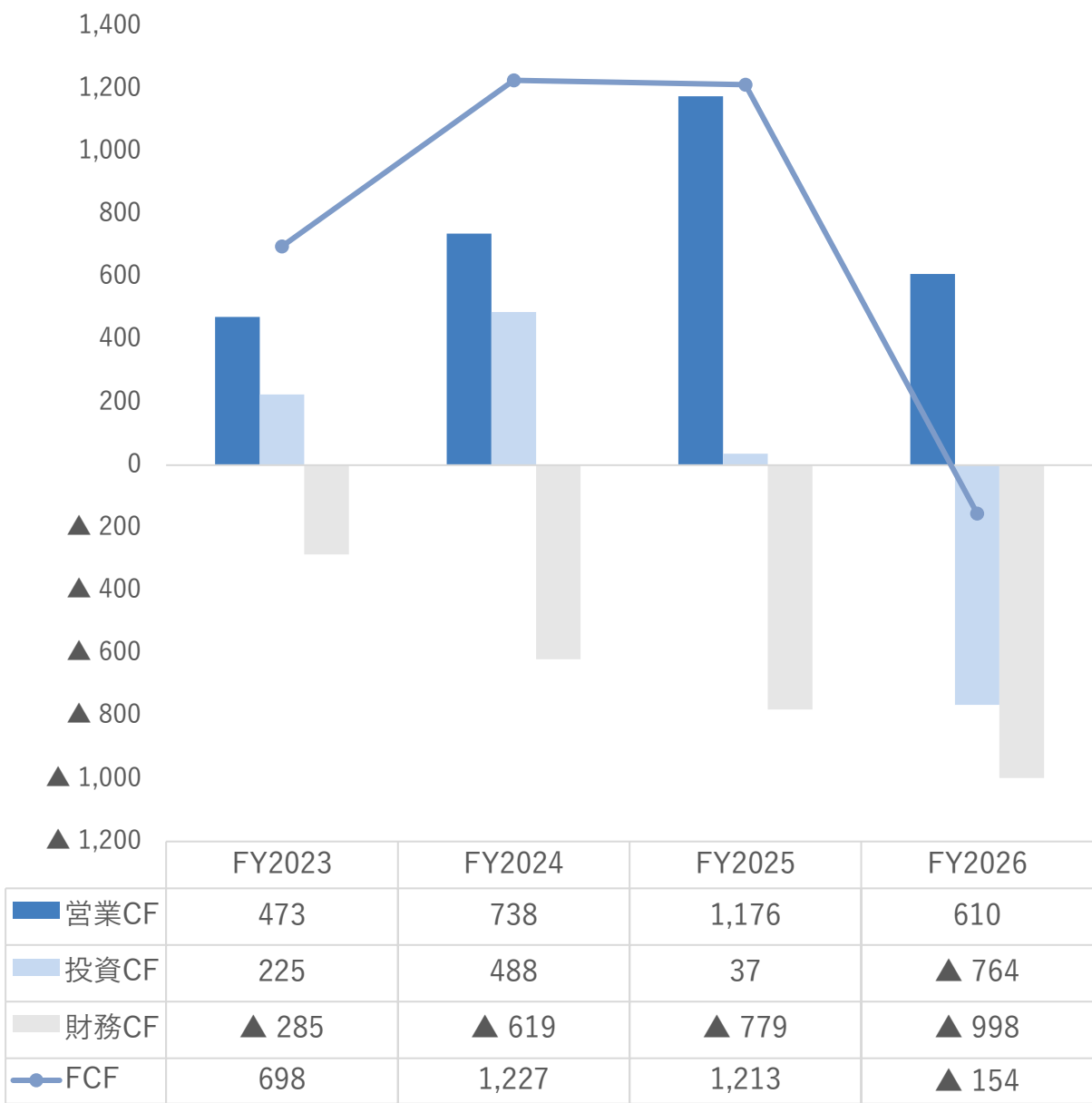
有利子負債なし（金利上昇局面において高い耐性）

自己株式の取得により資本増加低減

自己資本比率 76%

2. 2026年7月期 決算ハイライト

連結キャッシュフロー計算書



増減要因

営業CF
前期比▲565M

未成業務受入金の減少額（純額） ▲219M
売上債権の増加額 ▲225M

投資CF
前期比▲802M

固定資産の売却による収入 354M
有形固定資産の取得 ▲156M、投資有価証券の取得+売却収入 ▲956M

FCF
前期比▲1,367M

売上債権の増加および未成業務受入金の減少に伴う運転資本の増加が押し下げたことや、金利上昇に伴う債券等の運用資金が増加した事により減少

財務CF
前期比▲218M

配当支払額 ▲13M
自己株式の取得による支出 ▲211M

現金・現金同等物
期末残高

8,415M（▲1,152M）

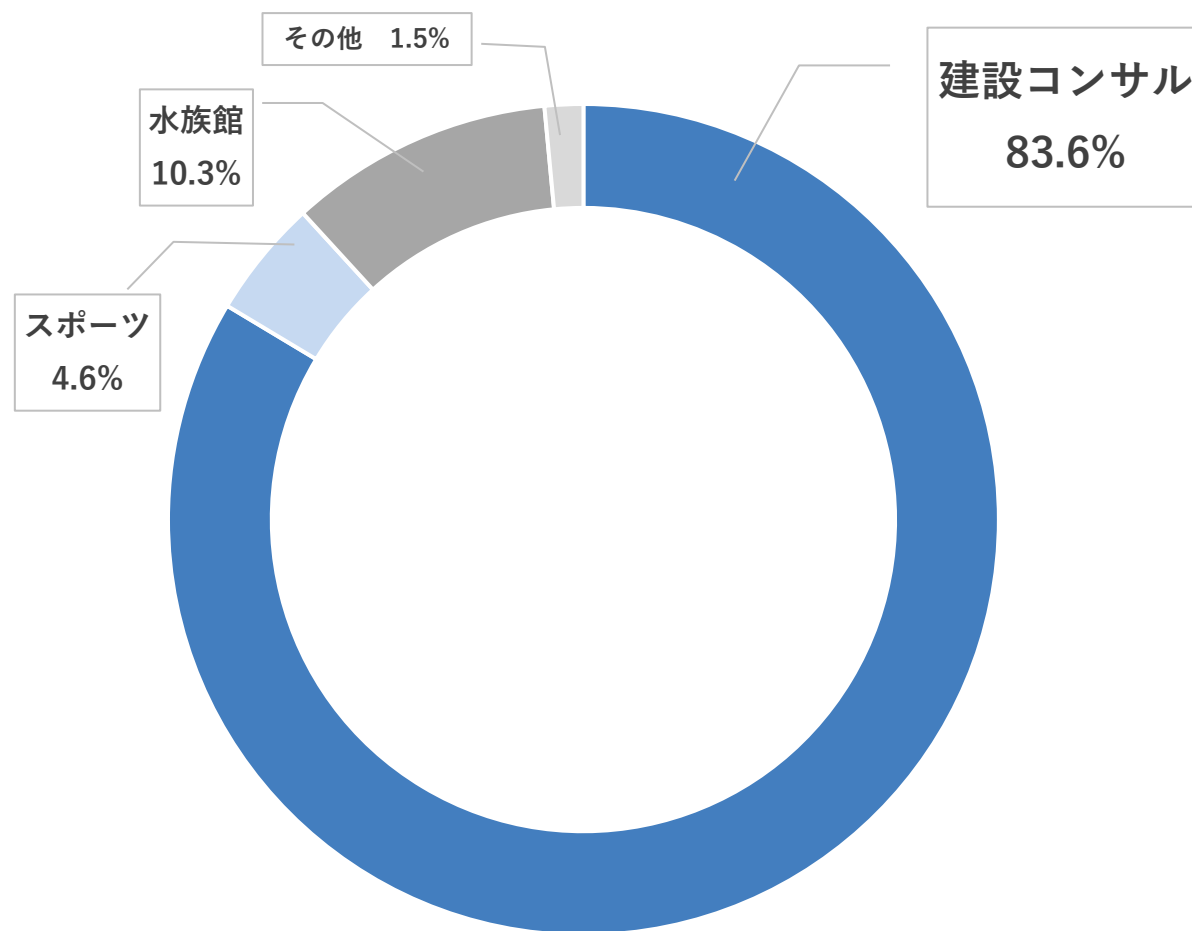
年間設備投資額

有形固定276M+無形固定5M = 281M
(次期中計3年間は設備投資を大幅に増加予定)

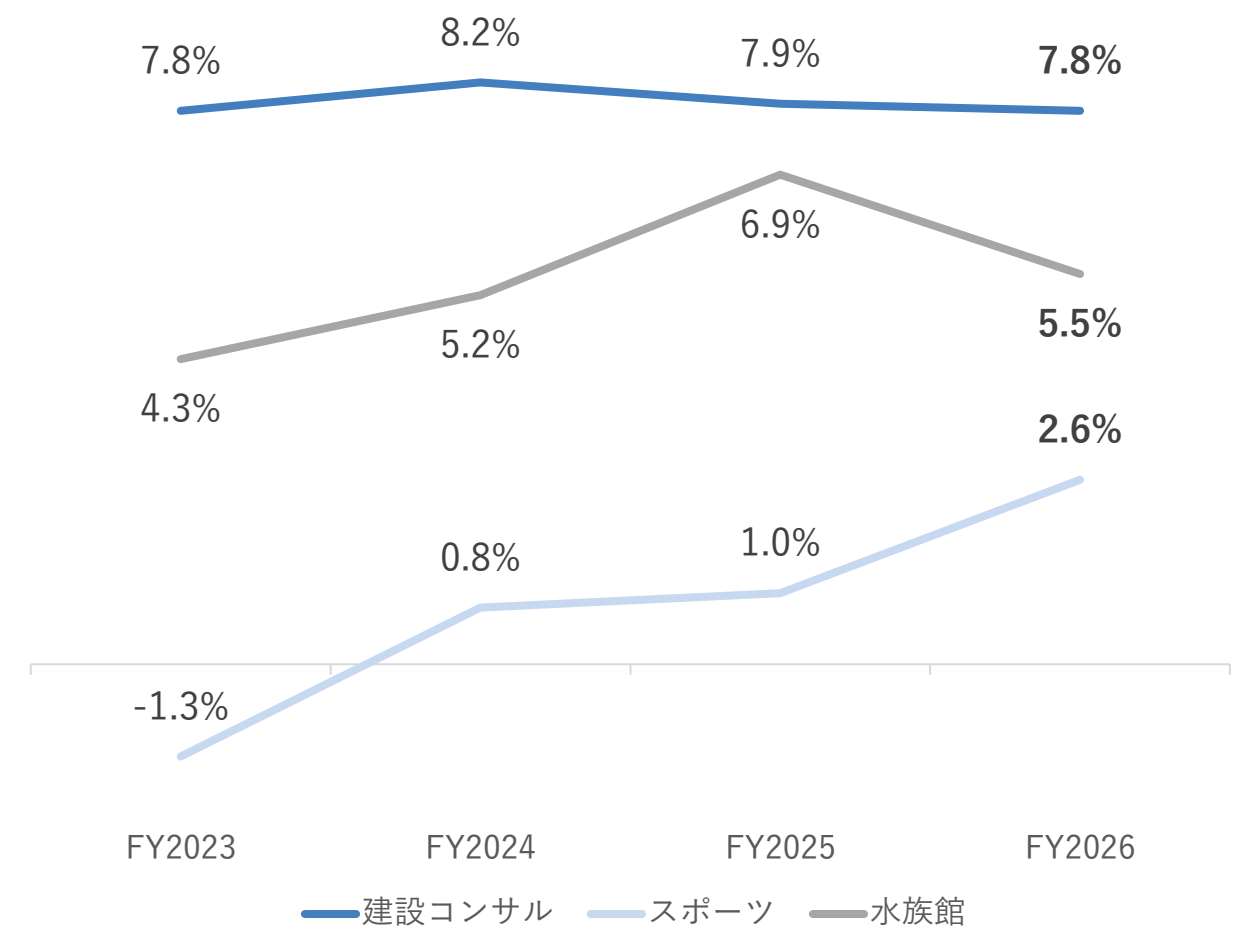
減価償却費

259M（前期比▲11M）

■セグメント別売上高構成比



■セグメント別 営業利益率推移



3. セグメント情報

セグメント別 P L 概況

- 建設コンサル：エリア・分野を問わず全般的に好調を維持。砂防・盛土基礎調査等の防災・減災関連業務が牽引
- スポーツ：施設の維持管理コストの増加に伴う価格転嫁や指定管理受託等により増収・増益で着地
- 水族館：四国水族館、アトア共に前期実績よりやや来館者回復。第2Q開業の広島もとまち水族館が想定超の業績寄与

セグメント売上高

(単位：百万円)	FY2025	FY2026	前期比
建設コンサル	13,835	14,207	2.7%
スポーツ	759	774	2.0%
水族館	1,250	1,759	40.8%
その他事業	269	259	▲3.6%
(連結相殺・調整額)	—	—	—
連結合計	16,114	17,001	5.5%

セグメント営業利益

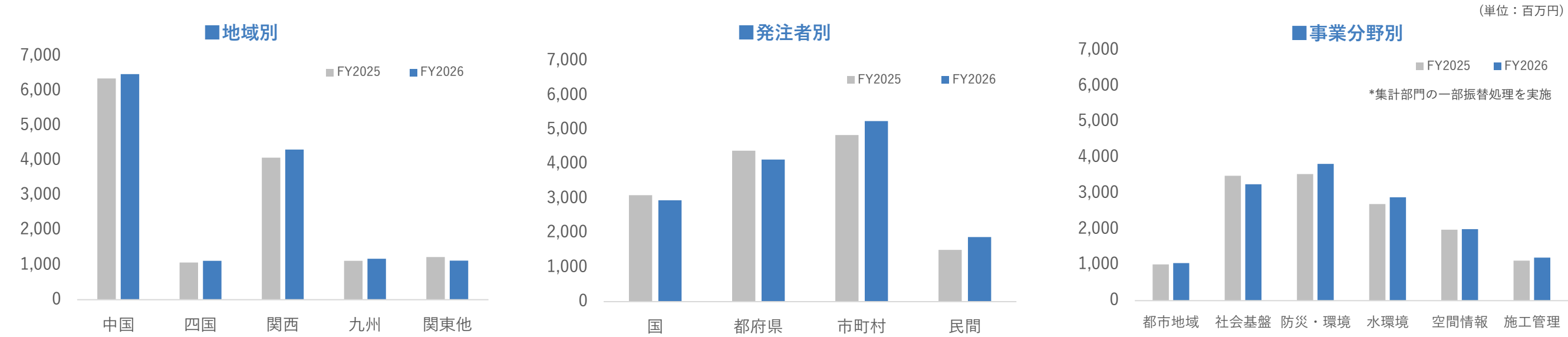
FY2025	FY2026	前期比
1,092	1,113	1.9%
7	20	161.7%
86	97	12.7%
26	12	▲51.0%
(▲225)	(▲214)	(11)
987	1,029	4.2%

*連結相殺・調整額：主としてその他事業である複写製本事業のグループ間取引の連結相殺額および持株親会社のウェスコHD経費配分調整額

3. セグメント情報

総合建設コンサルタント事業（分解情報）

■全般的に好調を維持。事業基盤である中国・関西地方は強固な基盤を構築しており、市町村からの受注や防災分野がそれぞれ増加傾向

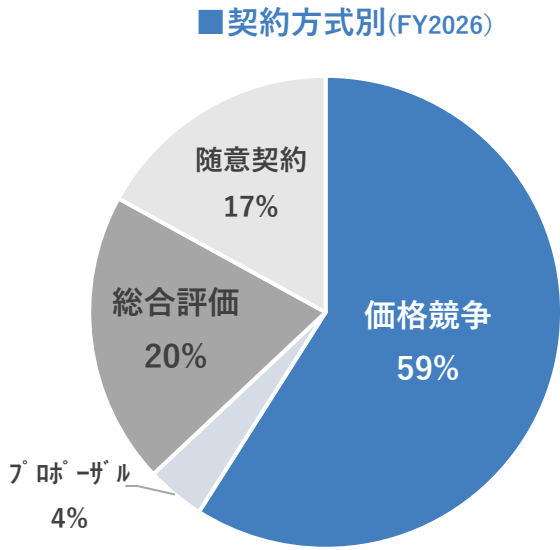


■契約単価

(単位：千円)	FY2024	FY2025	FY2026	増減
契約単価	8,174	8,982	9,616	634
中央値	4,729	4,909	5,050	141
前年上昇率 (中央値)	+5.1%	+3.8%	+2.9%	▲0.9pt

■リードタイム
(ウエスコ単体)

(単位：日)	FY2024	FY2025	FY2026	増減
国等	305	318	324	6
県	247	260	241	▲19
市町村	268	252	271	19
民間	183	202	239	37
全体	254	255	262	7



4. コーポレートアクション・トピックス

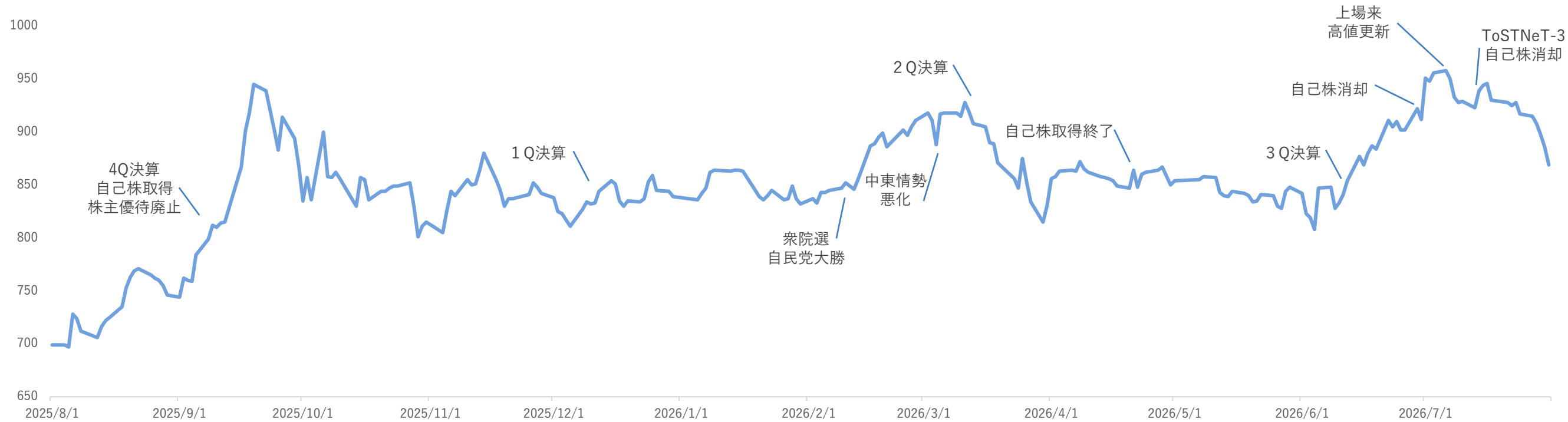
コーポレートアクション

施策（開示日/実施時期）	内容	目的
社員持株会の特別奨励金スキーム (2025/8/6・2025/10/20)	持株会加入率は70%まで向上し、経営参画意識の向上およびベースアップと併せて社員処遇の改善や採用競争力の向上を企図	経営参画意識の向上
自己株式の取得 (2025/9/16～2026/4/20)	467百万円、537千株を取得	ROE・PBRの改善 株主還元強化
ToSTNeT-3 (2026/7/15)	169百万円、180千株を取得	//
自己株式の消却 (2026/6/30・2026/7/15)	期中2回実施し、累計697千株を消却	希薄化懸念の払拭
代表取締役の異動・役員人事 (2026/9/11)	第二次中計の開始に伴い、ボード体制を刷新	グループ組織再編
配当方針の変更 (2026/9/11)	DOE3.0%下限、配当性向60%へ変更	株主還元強化
第2次中期経営計画 (2026/9/11)	「事業ポートフォリオ」「ロールアップ」「人材開発」を3本柱として計画 *詳細は、2026年9月11日公表の「中期経営計画策定のお知らせ」をご参照ください	「変革期へ」

4. コーポレートアクション・トピックス

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

■株式市場全体はAI・半導体関連のセクターに資金が集中したものの、当社株価は期初から約24%上昇し上場来高値を更新。一方、ROE<CAPMの状態が継続



期初－期末株価	699－869円	P B R	0.67倍	リスクフリーレート	2.79%
最低－最高株価	697－958円	P E R	12.2倍	β 値	0.70
実績BPS	1,288.86円	時価総額	112億円	マーケットリスクプレミアム	6.45%
実績EPS	71.09円	R O E	5.7%	株主資本コスト(CAPM推定)	7.3%

*PBR・PERは、期末株価および自己株式控除後の実績BPS・実績EPSに基づき算出。ROEは親会社に株主に帰属する当期純利益を期中平均自己資本で除して算出

非財務K P I の進捗

事業セグメント別の中計K P I		FY2024	FY2025	FY2026（実績）	前年差異	FY2026(中計目標)	達成状況
建設コンサル	技術継承	40歳以下管理技術者数 29人 ミスクレーム件数 0件	40歳以下管理技術者数 32人 ミスクレーム件数 0件	40歳以下管理技術者数 40人 ミスクレーム件数 0件	40歳以下管理技術者数 + 8人 ミスクレーム件数 ± 0件	40歳以下管理技術者数200%(計画比) ミスクレーム件数 0件	△
	研究開発・DX	(単年) 0.5億円	(単年) 0.5億円	(単年) 0.8億円	+0.3億円	3年間累計投資 6.5億円以上	×
	エリア拡大	20.5億円	25.7億円	23.8億円	▲1.9億円	関東・九州エリア 受注額23億円	○
スポーツ	施設会員数増加	6,403名	6,390名	6,383名	▲7名	会員数 7,000名以上	×
	F C店舗拡大	1 店舗	(累計) 1 店舗	(累計) 1 店舗	± 0 店舗	3年間累計FC出店 3店舗以上	×
水族館	来館者増加	1,200,409人	1,045,205人	1,087,130人	+41,925人	年間来館者数 145万人以上	×
	新規出店	0 施設	(累計) 0 施設	(累計) 1 施設	+ 1 施設	新規出店 1 施設以上	○

サステナビリティK P I		FY2024	FY2025	FY2026（実績）	前年差異	FY2026（中計目標）	達成状況
連結	女性管理職比率	5.6%	3.8%	3.4%	▲0.4pt	7.0%	×
	中途社員管理職比率	44.2%	47.6%	45.2%	▲2.4Pt	40%	○
	外国人管理職数	0 名	0 名	0 名	± 0 名	1 名以上	×
	男女賃金格差	55.8%	60.3%	65.4%	+5.1Pt	70%	×
(株)ウエスコ	男性育児休業取得率	42.9%	100%	93.3%	▲6.7Pt	100%	×
連結	従業員持株会加入率	63.9%	66.8%	70.2%	+3.4Pt	60%	○
	健康経営優良法人認定件数	0 社	1 社	4 社	+ 3 社	2 社	○
提出会社	重大な法令違反	0 件	0 件	0 件	± 0 件	0 件	○
	リスク等の評価実施件数	3 件	4 件	4 件	± 0 件	4 件	○

連結業績予想

■建設コンサル事業は引き続き増収・増益を計画し、連結業績における売上高および営業利益、経常利益は過去最高の更新を目指す

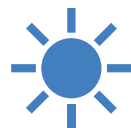
■一方、一過性の固定資産売却益の剥落の影響により親会社株主に帰属する当期純利益は減益を予想

(単位：百万円)	FY2026 (実績)	FY2027 (計画)	対前期比 (増減)
売上高	17,001	17,200	1.2%
営業利益	1,029	1,090	5.9%
経常利益	1,272	1,300	2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	945	840	▲11.1%

連結業績予想

セグメント

建設コンサル



- 【受注】 複数年契約の受注増加も影響し、繰越受注残高8,656M（前期比+11%）
- 【売上】 豊富な受注残や防災・減災関連業務の受注堅調により増収
- 【収益性】 航空レーザーの設備投資により減価償却費が大幅に増加（次期以降も継続）。人件費ベースアップを継続
- 【エリア】 地元基盤の防衛と新規開拓を両立
- 【分野】 全般的な底上げに加え、防災・減災分野が引き続き注力

スポーツ・水族館



- ± スポーツ事業は、横ばいを計画
- + 水族館事業は、FY2026/2Q開始の広島もとまち水族館の通年業績寄与、指定管理事業等により増収・増益を計画

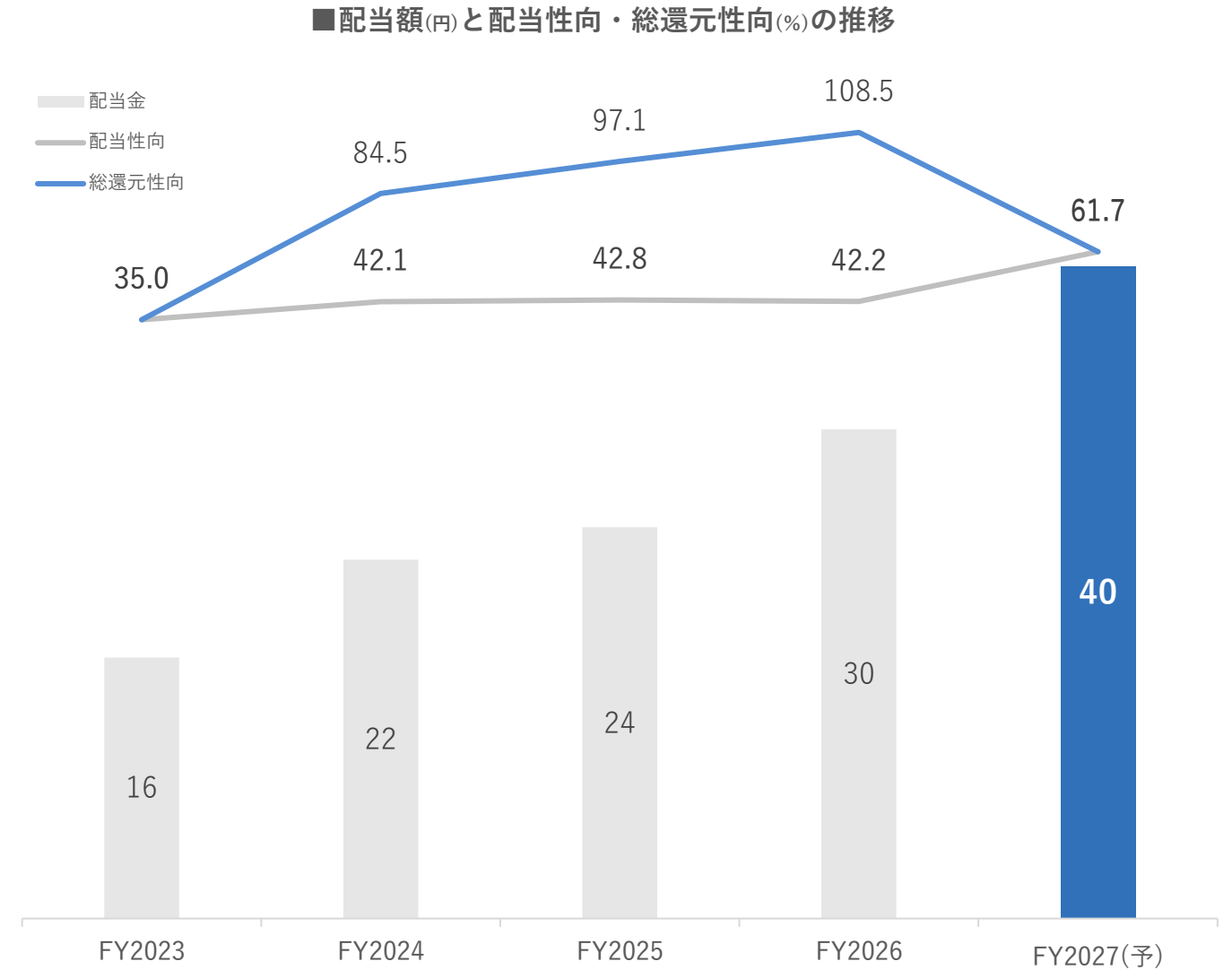
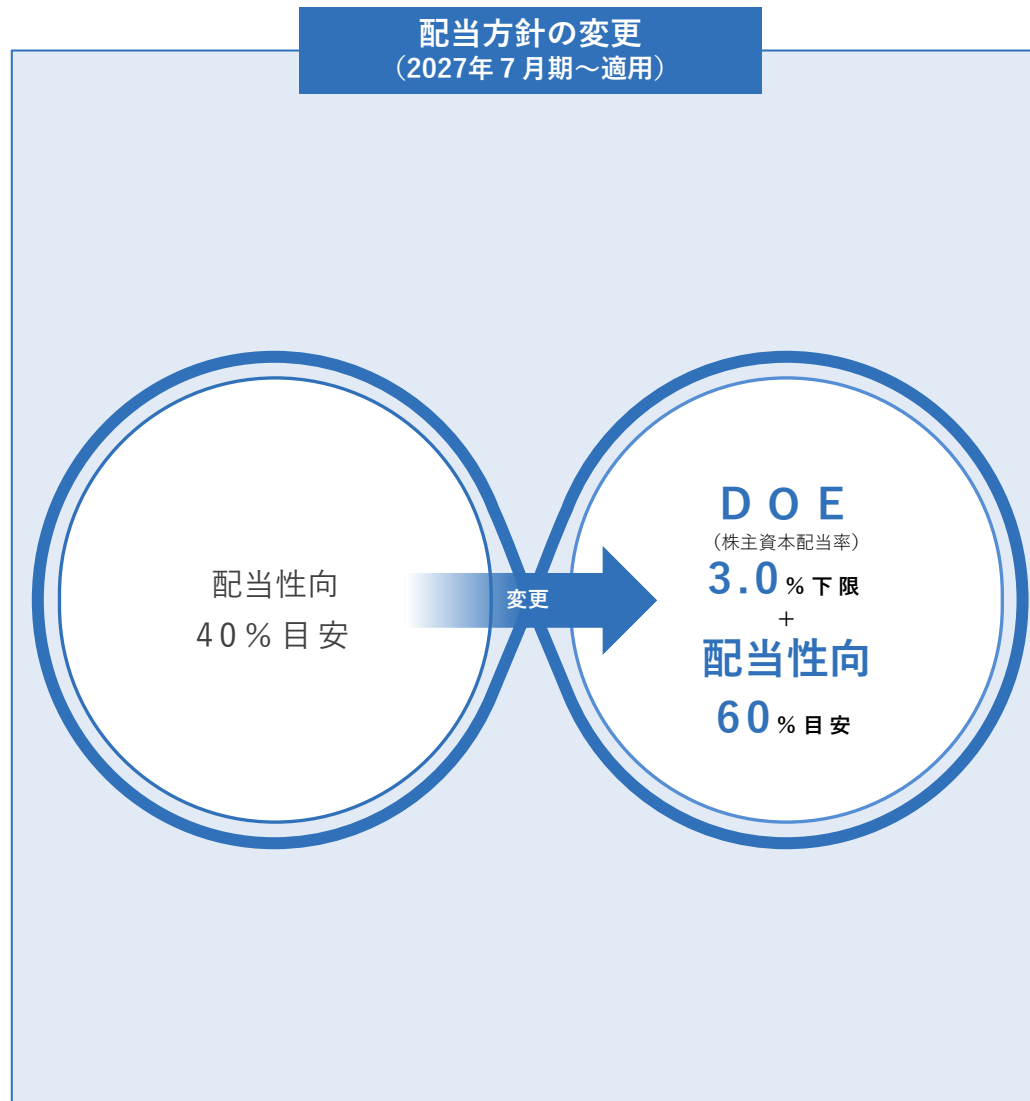
グループ連結



- + 建設コンサルは安定的
- + 持株会に対する第三者割当費用の剥落
- + スマートアクアリウム静岡に係る減損損失剥落（撤退済）
- R6税制改正により、主要連結子会社を含む2社が外形標準課税適用の影響により公租公課増加（次期以降も継続）
- 不動産売却に係る特別利益の剥落により当期純利益は大幅に減益
- FY2026は、不動産売却に係る税効果の影響により実効税率が低下したものの、次期以降は平常水準へ回帰

株主還元／配当政策

■配当方針を変更し、次期は1株あたり40円の配当を予定。安定的且つ高水準の株主還元を継続実施



< ご注意事項 >

1. 本資料に記載されている将来の予測に関する情報は、本資料の作成時点において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 今後の会計基準、税制、諸制度等の変更に係る事項は反映しておりません。
3. 本資料に記載されている情報について、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更される場合があります。
4. 本資料は、情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。
5. 本資料の著作権は当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

< I R に関するお問い合わせ先 >

株式会社ウエスコホールディングス 経営企画室

(当社Webサイト) <https://www.wescohd.co.jp/>

上記サイトにアクセスいただき、「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。